

スマイル通信

2017年4月号 Vol.24

入学シーズンとなり、そこ此処に初々しい新入生の姿をみかけるこの頃ですが、皆様お元気でお過ごしでしょうか。高槻赤十字病院にも新入職員が入職し初々しさがいい雰囲気を作ってくれています。

助産師との関わり

妊娠してまず行くのは産婦人科外来。

ここでは産婦人科医、助産師、看護師、看護助手、事務など色々な職種が連携して働いています。

その中でも、助産師がどのように関わっているのか疑問を持っている人は多いのではないのでしょうか。

そこで、妊婦健診から分娩、入院中、退院後まで助産師との関わりを少しずつ紹介したいと思います。

今回は、外来での保健指導と母親学級の様子です。

助産師による保健指導の様子



1対1でゆっくり時間をとります。

初期・中期・後期の3回

必要であれば何度でも相談にのります！

母親学級の様子

産婦人科外来で予約を受け付けています。



母親学級は前期・後期と月2回開催。

これは後期の様子です。

他に、両親学級も月1回開催中です！



寒い中、参加してくださった妊婦さん！

もうすぐ予定日だそうです。

一緒にお産がんばりましょう！！



これは助産師の手作り胎児（お腹の中の赤ちゃんのこと）。

見えにくいですが、横に胎盤もついています。

妊娠30週の胎児の重さなんですよ。（1500g）

是非、参加してくださいね。